

令和4年8月26日

保護者の皆様

中津川市立川上小学校
校長 中山 英三

新型コロナウイルス感染症予防対策について（お願い）

今日から新学期が始まりました。元気に登校してきた子どもたちの言葉や様子からは、家族とともに楽しく充実した夏休みを送れた満足感のようなものがうかがえました。そのことを大変に嬉しく感じながら、二学期の教育活動の充実に向け、私どもも気を引き締めているところです。

さて、全国的な新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、文部科学省からあらためて「感染防止対策を踏まえた学校運営」についての通知が届きました。その内容を踏まえ、保護者の皆様や児童へのお願い・注意事項を下にまとめましたので、ご一読の上、ご家庭でも話題にしてくださいませようをお願いいたします。

1、基本的な感染防止対策の考え方

(1) 飛沫感染と接触感染が主な感染経路

- ・<飛沫感染予防＝マスク着用・部屋の換気>マスクの着用により、ウイルスを含んだ「飛沫」の発生を防ぐことに期待できる。感染しても無症状の人が3分の1以上存在するため、自身に症状がなくてもマスクがなければ感染力のある「飛沫」を発してしまうという認識をもつことが必要。
- ・<接触感染予防＝手指衛生>流水と石けんで手洗い、アルコールによる手指消毒。
- ・マスクの着用、距離の確保、手指消毒などの感染防止対策を徹底すれば、基本的に感染しない。

(2) 学校生活におけるマスク着用の考え方

- ・マスクの着用は引き続き基本的な感染対策とする。人との距離（2m以上）や会話の有無により、メリハリをつけて着用。特に気温・湿度や暑さ指数が高い日など、熱中症の健康被害発生のリスクがある場合は、登下校時にマスクを外すなど、熱中症対策を優先。ただしその場合は、「話さない」ことを徹底。

(3) 濃厚接触者、自宅待機要請者の特定

- ・校内に感染者が出た場合は、その行動について聞き取り調査を行い、関係諸機関との協議の上で濃厚接触者または自宅待機要請者を特定。その際は「1m以内の距離で互いにマスクなしで会話（時間の長さは問わない）」「手で触れることのできる距離（目安1m）で、必要な感染予防なしで感染者と接触があった者。なお、「必要な感染予防」については、マスクの着用のみならず、いわゆる鼻出しマスクやあごマスクなど、不適切なマスク着用の有無も確認」「給食時の会話の有無」といったことを判断基準とする。

2、ご家庭へのお願い

(1) 「健康チェックカード」による毎日の健康状態の確認

- ・毎朝、児童玄関前で確認します。登校前に保護者による検温・健康観察およびサインを確実にお願いします。
- ・次の症状がある場合は、登校を控えてください。「出席停止」扱いとなり、欠席にはなりません。

微熱(普段よりも高い熱)、高熱(目安37.5度前後よりも高い)、咳、のどの痛みやくしゃみ等の風邪症状、味やにおいを感じない、強いだるさ、息苦しさ、下痢等の消化器症状、頭痛 など

(2) 感染が疑われる場合は登校しないことの徹底

- ・同居の家族など一定の接触のある者に発熱や風邪症状がある場合も、基本的には登校を控えてください。判断に迷われる場合は、学校にご連絡ください。

学校では、これまでと同様に予防対策の徹底に努めます。また、人権教育や、感染者に対するケア（リモートでの授業や交流、教育相談活動など）にも十分に留意します。

何よりも子どもたちの心身の健康と安全のため、この難局を保護者とともに乗り切りたいと考えておりますので、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。